

「科学的な経営管理」—KPIーマネジメントが BSSCのイメージを一新する

株式会社アットストリーム 代表取締役 平山賢二氏

アットストリームはBSSCを使った科学的な経営管理手法を「KPIーマネジメント」という呼び名で、多くのお客様と実践の中で具体化してきました。特別講演では、同社の代表取締役 平山賢二氏がBSSCを使った新経営管理手法を独自の三大ノウハウとして惜しげもなく公開する。

①「意見よりもデータ」 がマネジメントの基本

人はどうしても会社の立場や、そのときの状況で

意見を言う。たとえば、製品に不良があつても違う理由を付けて「大した問題ではない。大きなリスク要因はない。……と。しかしコンサルティングの現場から見ると、こんな意見は信用できない。意見はその人の肩書や、声の大きさで真実が曲げられてしまう。

それからビジネスの世界でプロだとかベテランとかいわれる人の意見を、人は往々にして真実と思ひ、鵜呑みにしてしまふ危険性がある。「私はこの道20年やっているのだ」とベテランが豪語したとしても、実際にデータを

検証してみると間違つていたりする。その人は20年や

つているのではなく、1年を20回繰り返しているだけなのかもしれない。

つまり「意見よりもデータ」とは、科学的な経営管理をしようというマネジメントの基本姿勢である。

②科学的な経営管理 を根付かせるためには 方法論(考え方と手法) が必要

企業でBSSCが、もつと

も使われる分野は業績管理。活用のレベルが上がるにつれて、業務計画、戦略立案、投資計画／投資回収へと展開していく。すべての領域で試行錯誤を繰り返した結果、私どもは「BSSC」という言葉を替えて、今は

「KPIーマネジメント」と言

つている。

KPIとは重要業績管理指標。現場の実感としてBSSCは、KPIでマネジメントするツールと位置付けた方が企業の中では通り

がいい。

あくまでもBSSCは実践の世界。学問ではない。ところが「BSSCをやる」と

きが主な目的になつてしまひ、BSSCの勉強を始めてしまう。大事なことは、実際に自分たちの会社の中でBSSCを活用しながら、

独自の方法論を駆使して成果を上げることである。

理ツールとして、経営者に必須の仕組みになるのであ

③KPIーマネジメント には3つの神器が必須

3つの神器とは、勝ち方を可視化する「戦略マップ」。

広
告

企画・制作
株式会社日経ビジュアル